



経済学から見た レジリエンスの諸相:

自然災害と経済危機 のケース

2024
7.4 木
13:10 ~ 14:40

本講演では、経済学的な観点に立ちながら、自然災害、環境破壊、経済危機、感染症などのショックに対してレジリエントな社会を築いていくために必要となる6つの論点（災害からの回復程度、費用対効果、ハードとソフトの補完性、リスク間のトレードオフ、危機対応の責任、学際的アプローチ）をあげていく。特に、社会のレジリエンスと経済のレジリエンスの両立に配慮していく。

会場

西2号館 E105室 & オンライン

無料

どなたでも
ご参加
いただけます。

詳しくは
コチラ



連絡先

和歌山大学経済学部 経済総合研究所

✉ keisouken-2@ml.eco.wakayama-u.ac.jp



講演者

齊藤 誠 教授

(名古屋大学 大学院 経済学研究科)

〈略歴〉

名古屋大学大学院経済学研究科教授。1960年生まれ、1983年京都大学経済学部卒業、1992年マサチューセッツ工科大学経済学博士(Ph.D.)、住友信託銀行、UBC、京都大学、大阪大学、一橋大学を経て2019年より現職。2024年に一橋大学名誉教授。専門分野はマクロ経済学。01年日経経済図書文化賞、07年日本経済学会石川賞、08年エコノミスト賞、11年全国銀行学術研究振興財団賞、12年石橋湛山賞を受賞。14年春に紫綬褒章受章。近著作に Strong Money Demand in Financing War and Peace、Springer、『財政危機とマクロ経済』（名古屋大学出版会）等がある。